

プロテインキナーゼA触媒サブユニット ヒト、再組換え

Cat. No. NATE-0571

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

広範な基質をリン酸化し、多くの細胞プロセスを調節する遍在性のセリン-スレオニンキナーゼ。触媒サブユニットは、PKAホロ酵素の調節サブユニットへのサイクリックAMPの結合に続いて放出される。自由な触媒サブユニットは内因性の活性を持ち、追加のサイクリックAMPを必要としない。

別名

プロテインキナーゼA触媒サブユニット；プロテインキナーゼA；PKA；PKAC；cAMP依存性プロテインキナーゼ触媒サブユニット；PRKAC

製品情報

種

人間

由来

大腸菌

形態

緩衝された水性グリセロール溶液

分子量

mol wt 43.5 kDa

純度

>90% (SDS-PAGE)

活性

>1000 ユニット /mg タンパク質

緩衝液

30 mM カリウムリン酸緩衝液 (pH 7.4) 中の溶液で、50% グリセロール、150 mM KCl、1 mM EDTA、および 1 mM DTT を含みます。

代謝□路

適応免疫系、特定の生物系；アメーバ症、特定の生物系；アメーバ症、保存された生物系；アンフェタミン依存症、特定の生物系；アンフェタミン依存症、保存された生物系；アポトーシス、特定の生物系；アポトーシス、保存された生物系

機能

ATP結合；cAMP依存性プロテインキナーゼ活性；cAMP依存性プロテインキナーゼ活性；ヌクレオチド結合；プロテイン結合；プロテインキナーゼ結合；プロテインセリン/スレオニンキナーゼ活性；ユビキチンプロテインリガーゼ結合

単位定義

1ユニットは、pH 7.4、30°Cで32P-ATPからケンブチド基質に1ナノモルのリン酸を1分あたり転送します（放射性フィルター結合アッセイによって測定）。Km (ATP) = 30°C、pH 7.4 で 25 μM。Km (ケンブチド) = 30°C、pH 7.4 で 42 μM (33 μg/ml)。

保管・発送情報

安定性

-70°C